

1 国際交流事業実績と計画

(1) 県（国際交流課事業）

1	事業名 (事業主体)	鹿児島・香港交流会議
	開始年度	昭和 54 年度
	事業概要	アジア地域における国際ビジネスの拠点となっている香港との間で、昭和 55 (1980) 年に鹿児島で第 1 回交流会議を開催して以来、隔年で交互の地において開催している交流会議を核としながら、経済、観光、芸術・文化等の幅広い分野における交流を活発に展開している。
	令和 2 年度実績	「第 22 回鹿児島・香港交流会議」 →新型コロナウイルスの影響により書面開催
	令和 3 年度計画 (実績を含む)	隔年実施のため計画なし
2	事業名 (事業主体)	鹿児島・シンガポール交流会議
	開始年度	昭和 57 年度
	事業概要	アジアの貿易・金融の中心地として目覚ましい発展をとげているシンガポールとは、昭和 57 年(1982 年)に鹿児島で第 1 回交流会議を開催して以来、隔年で交互の地において開催している交流会議を核としながら、観光、文化、青少年など幅広い分野における交流を活発に展開している。
	令和 2 年度実績	隔年実施のため計画なし
	令和 3 年度計画 (実績を含む)	「第 21 回鹿児島・シンガポール交流会議」 (新型コロナウイルスの影響により、開催方法について検討中)
3	事業名 (事業主体)	アジア地域との交流(中国・江蘇省との交流)
	開始年度	平成 8 年度
	事業概要	本県と江蘇省との交流を促進するため、両県省の交流について実務レベルで協議する。「鹿児島県・江蘇省交流協議会」の開催や同協議会での合意事項に基づき、訪問団の相互派遣・受入れ等を行う。
	令和 2 年度実績	(1) 第 23 回鹿児島県・江蘇省交流協議会の開催(書面開催) (2) 専門家派遣 介護分野を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止 (3) 自費訪問団の受入 実績なし (4) 行政訪問団の受入 実績なし
	令和 3 年度計画	(1) 第 24 回鹿児島県・江蘇省交流協議会の開催(鹿児島開催予定)

	(実績を含む)	(2) 専門家派遣 派遣期間：令和4年3月までの期間のうち3泊4日 (介護分野を予定) (3) 自費訪問団の受入 (4) 行政訪問団の受入
4	事業名 (事業主体)	アジア地域との交流（韓国・全羅北道との交流）
	開始年度	平成6年度
	事業概要	アジアに広がる国際交流ネットワークの形成を図るため、本県と全羅北道との友好交流を促進する。平成21年より、今後の交流について実務レベルで協議する「鹿児島県・全羅北道交流協議会」を2年に1回、相互の地で開催している。
	令和2年度実績	－
	令和3年度計画 (実績を含む)	第7回鹿児島県・全羅北道交流協議会（予定）
5	事業名 (事業主体)	「アジア・かごしまクラブ」形成事業
	開始年度	平成10年
	事業概要	これまでの交流実績により培ってきた貴重な財産である人的ネットワークを組織化し、アジア地域との様々な交流の推進を目的とする。クラブの会員は、海外県人会や帰国留学生、海外技術研修生など、本県に居住したり、本県とゆかりの深い方々である。主な活動は、鹿児島との情報交換や、会員相互の交流、鹿児島のPRなどである。
	令和2年度実績	(1) 下記3クラブに活動交付金を交付 ①香港かごしまクラブ 平成11年1月11日設立、会員：400名（令和2年5月現在） ②かごしまクラブシンガポール 平成11年1月13日設立、会員：130名（令和2年5月現在） ③全羅北道かごしまクラブ 平成11年3月22日設立、会員：214名（令和2年5月現在） (2) 活動内容：鹿児島のPR、会員相互の交流等
	令和3年度計画 (実績を含む)	(1) 下記3クラブに活動交付金を交付 ①香港かごしまクラブ 平成11年1月11日設立、会員：400名（令和3年5月現在） ②かごしまクラブシンガポール 平成11年1月13日設立、会員：130名（令和3年5月現在） ③全羅北道かごしまクラブ 平成11年3月22日設立、会員：218名（令和3年5月現在） (2) 活動内容：鹿児島のPR、会員相互の交流等

6	事業名 (事業主体)	海外技術協力等推進事業 (県費留学生受入事業)
	開始年度	昭和 45 年度
	事業概要	本県出身移住者の子弟を県内の大学に留学させ、母県の実態を知ってもらい、移住先国との友好親善を図る。
	令和 2 年度実績	受入人数 : 3 名 (ブラジル 2 名, ペルー 1 名) 留学先 : 鹿児島大学 期間 : 令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 2 月 (11 か月) (新型コロナウイルスの影響により中止)
	令和 3 年度計画 (実績を含む)	受入人数 : 3 名 (ブラジル 2 名, ペルー 1 名) 留学先 : 鹿児島大学 期間 : 令和 3 年 4 月 ~ 令和 4 年 2 月 (11 か月) (新型コロナウイルスの影響により中止)
7	事業名 (事業主体)	海外技術協力等推進事業 (海外技術研修員受入事業)
	開始年度	昭和 56 年度
	事業概要	開発途上国の発展と繁栄に貢献し得る人材を育成するとともに、研修における県民とのふれあいを通じ、相互の経済・文化の交流促進に寄与することを目的とし、在外県人会、外国政府機関、青年海外協力隊等の推薦を受けた者を技術研修員として受け入れる。 研修期間 : 9 月初旬 ~ 10 月末 (2 か月) 日本語研修 11 月初旬 ~ 2 月上旬 (3 か月) 実技研修
	令和 2 年度実績	受入人数 : 3 名 (ブラジル 1 名, ペルー 1 名, 中国 1 名) 期間 : 令和 2 年 9 月 ~ 令和 3 年 2 月 (新型コロナウイルスの影響により中止)
	令和 3 年度計画 (実績を含む)	受入人数 : 3 名 (ブラジル 1 名, ペルー 1 名, 中国 1 名) 期間 : 令和 3 年 9 月 ~ 令和 4 年 2 月 (新型コロナウイルスの影響により中止)
8	事業名 (事業主体)	国際交流プラザ設置事業
	開始年度	平成 15 年度
	事業概要	かごしま県民交流センター内の国際交流プラザにおいて、県民・外国人・国際交流団体への交流の場の提供、在住外国人・留学生に対する各種相談・情報の提供及び発信等を行う。
	令和 2 年度実績	利用者数 : 9,959 人 相談件数 : 51 件 ※令和元年 10 月から外国人からの相談は「外国人総合相談窓口」で対応
	令和 3 年度計画	利用者数 : 2,908 人

	(実績を含む)	相談件数：9件 ※令和3年7月末現在
9	事業名 (事業主体)	アジア・太平洋農村研修センター管理運営事業
	開始年度	平成6年
	事業概要	日本の南西部に位置するという地理的条件やこれまでの海外との交流の実績を踏まえ、今後さらに様々な国際交流・協力活動を展開するため、アジア太平洋諸国からの研修生の受入れやこれらの人々と県民との交流を通じた国際理解の推進、イベント、生活文化学習などの機能を持つ公設民営方式の研修センターを設置し、鹿児島が南の拠点となることを目指す。 ※鹿児島国際交流促進センターに委託
	令和2年度実績	利用者数：5,281人(117人) ※()は外国人の内数
	令和3年度計画 (実績を含む)	利用者数：1,854人(40人) ※()は外国人の内数 ※令和3年7月末現在
10	事業名 (事業主体)	外国青年招致事業
	開始年度	昭和62年度
	事業概要	(1) 日本における外国語教育の充実及び地域レベルでの国際化、国際交流の促進に資するため、語学指導や国際交流活動を行う外国青年を招致する。 (2) 国際交流員(CIR)の受入れ・本県契約団体の取りまとめ、総括を行う。
	令和2年度実績	CIR4名の受入れ(中国、韓国、シンガポール、英国) ・中国籍 CIR：4月で任期満了により帰国 (後任は新型コロナウイルスの影響により未着任) ・韓国籍 CIR：再任用(2年目) ・シンガポール籍 CIR：再任用(2年目) ・英国籍 CIR：再任用(2年目)→令和3年2月に退職
	令和3年度計画 (実績を含む)	CIR4名の受入予定(中国、韓国、シンガポール、英国) ・中国籍 CIR：新型コロナウイルスの影響により未着任 ・韓国籍 CIR：再任用(3年目) ・シンガポール籍 CIR：2年目のCIRは8月に任期満了により帰国し、9月に新規任用(1年目) ・英国籍 CIR：11月に新規任用(1年目)
11	事業名 (事業主体)	海外情報ネットワーク形成事業
	開始年度	平成19年度

	事業概要	本県の海外でのイメージや知名度の向上を図るとともに、海外の観光客の誘致促進、県産品の販路拡大など、観光をはじめとする本県産業の振興に資する。
	令和2年度実績	海外向けに本県の観光・物産等のPR記事を掲載した外国語（英語・中国語・韓国語）及び日本語によるメールマガジンを発行し、情報発信を行う（月1回程度）。 ※中国からのCIR不在のため、中国語版は5月から休止中
	令和3年度計画 （実績を含む）	海外向けに本県の観光・物産等のPR記事を掲載した外国語（英語・中国語・韓国語）及び日本語によるメールマガジンを発行し、情報発信を行う（月1回程度）。 ※中国からのCIR不在のため、中国語版は休止中。また、英語圏からのCIR不在のため、英語版は7月から休止中。
12	事業名 （事業主体）	移住機関等連絡調整事業
	開始年度	昭和63年度
	事業概要	本県海外移住者の援助促進を図るため、県海外移住家族会、在外県人会等と協力して移住者関連事務を実施する。
	令和2年度実績	ブラジル、アルゼンチン、ペルー、パラグアイの4在外県人会及び県海外移住家族会へ活動費の補助を実施
	令和3年度計画 （実績を含む）	ブラジル、アルゼンチン、ペルー、パラグアイの4在外県人会及び県海外移住家族会へ活動費の補助を実施
13	事業名 （事業主体）	清華大学との交流促進事業 （国際交流課、文化振興課、環境林務課、商工政策課、観光課、高校教育課）
	開始年度	平成26年度
	事業概要	平成25年度に締結した清華大学との包括協定に基づき、青少年・学術・経済などの分野において交流事業を実施し、人材の育成と人的ネットワークの構築を図る。
	令和2年度実績	(1) 清華大学留学支援奨学金交付事業（派遣） 実績なし（新型コロナウイルスの影響による） (2) 中国語研修プログラム事業（派遣） 実績なし（新型コロナウイルスの影響による） (3) 清華大学との教育連携促進プログラム事業（受入） 実績なし（新型コロナウイルスの影響による） (4) 文化芸術交流事業（受入） 実績なし（新型コロナウイルスの影響による） (5) 環境分野交流事業（派遣） 実績なし（新型コロナウイルスの影響による）
	令和3年度計画 （実績を含む）	(1) 清華大学留学支援奨学金交付事業（派遣） 実績なし（新型コロナウイルスの影響による）

		<p>(2) 中国語研修プログラム事業（派遣） 実績なし（新型コロナウイルスの影響による）</p> <p>(3) 清華大学との教育連携促進プログラム事業（受入） 実績なし（新型コロナウイルスの影響による）</p> <p>(4) 文化芸術交流事業（派遣） 派遣期間：令和4年3月までの期間のうち4泊5日 派遣人数：8名（県内専門家等）※調整中</p> <p>(5) 環境分野交流事業（受入） 受入期間：令和4年3月までの期間のうち4泊5日 受入人数：8名（清華大学教授等）※調整中</p>
14	事業名 （事業主体）	英国自治体との交流促進事業
	開始年度	平成30年度
	事業概要	平成30年（2018）年7月、薩摩藩英国留学生ゆかりの地であるロンドン・カムデン区及びマンチェスター市との間で「友好交流に関する協定」を締結したことなどから、友好協定を核とした持続的な交流等を促進するため、青少年交流等を実施する。
	令和2年度実績	なし（新型コロナウイルスの拡大により、実施見合わせ）
	令和3年度計画 （実績を含む）	<p>(1) 薩摩スチューデント派遣 ロンドン・カムデン区に所在し、薩摩藩英国留学生が学んだユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）がオンラインで実施する英国教育体験プログラムへ参加 (ア) 期間：令和3年8月3日～8月24日（全14日間） (イ) 人数：県内高校生3名 (ウ) 活動内容：UCL講師による講義、ワークショップ、専門の研究者との意見交換など</p> <p>(2) 英国青少年等受入（相手方申出等により中止）</p>
15	事業名 （事業主体）	鹿児島県国際交流センター管理運営事業
	開始年度	令和2年度
	事業概要	<p>令和2年4月に供用開始した鹿児島県国際交流センターを適切に維持管理するとともに、入居する外国人留学生等と県民との交流事業を通して、国際社会に貢献する人材の育成や国際相互理解の促進を図る。</p> <p>※「鹿児島県国際交流促進センター」に業務委託（指定管理）</p>
	令和2年度実績	<p>入居者数：23名 （アメリカ人1名、中国人3名、韓国人1名、ベトナム人5名、ブラジル人1名、マレーシア人6名、日本人RA6名）</p>
	令和3年度計画 （実績を含む）	<p>入居者数：21名 ※令和3年7月末現在 （中国人2名、ベトナム人4名、ブラジル人1名、マレーシア人</p>

		6名, スリランカ人2名, 日本人 RA6名)
16	事業名 (事業主体)	かごしま多文化共生社会推進事業
	開始年度	令和2年度
	事業概要	<p>本県における在留外国人数は年々増加し, 令和2年12月末時点で12,204人と10年前(平成22年6,193人)の2倍となっており, 国際化の進展等に伴い, 外国人との共生社会の実現に向けた環境整備が求められている。</p> <p>外国人が住みやすい魅力的な鹿児島の実現を図るとともに, 多くの外国人が県内各地で活躍できるよう, 県民と在留外国人の交流イベント・講座の開催や地域における特色ある交流活動等を支援するほか, 日本語等講座の実施や日本語サポーターの養成, 関係機関による連絡会議, 市町村等への多文化共生アドバイザーの派遣などを実施する。</p>
	令和2年度実績	<p>(1) 在留外国人と県民との交流促進事業</p> <p>地域住民と外国人が互いに交流を深め, 外国人が日本社会に溶け込むことを目的に実施される, 地域における特色ある活動, 講座等を支援した。</p> <p>募集期間: R2.7.1~7.31 応募件数: 8件 採択件数: 2件 上限額: 200千円/1件</p> <p>(2) 日本語・日本文化等理解講座の実施</p> <p>県内(人口に占める外国人の割合が高い地域)で日本語だけでなく日本での生活に必要な知識について, オンライン講座を行った。</p> <p>受講人数: 8名 利用サービス: Zoom 実施日等: 10/11, 10/25, 11/8, 11/22, 11/29(全5回, 90分/回)</p> <p>(3) 日本語サポーター(語学ボランティア)の養成(新規)</p> <p>外国人が居住している県内市町村において, 日本語教室のサポートを行う日本語サポーターが不足していることから, 養成のための研修を行った。</p> <p>サポーター養成講座について地域振興局単位で募集し, 外国人も参加したより実践的な講座とするため, 併せて日本語・日本文化等理解講座を開催した。</p> <p>対象地域等: ①北薩地域(さつま町) ※()内は会場を提供する市町 10/25, 11/8, 11/22, 11/29, 12/13, 12/27 (全6回180分/回) 受講者数 サポーター13名 参加外国人 12名 ②大隅地域(曾於市) ※ 実施を予定していたが, 新型コロナウイルス</p>

		<p style="text-align: center;">スの影響により中止。</p> <p>(4) 庁内連絡会議 (ア) 日 時：令和3年2月2日 午前10時～午前11時20分 (イ) 場 所：県庁本庁舎7階 7-総-1 会議室 (ウ) 参加人数：19名（庁内関係課）</p> <p>(5) 多文化共生社会推進会議（外国人材受入活躍支援課，国際交流課が実施） (ア) 日 時：令和2年10月6日 午前10時～正午 (イ) 場 所：かごしま県民交流センター大ホール (ウ) 参加人数：43名（市町村，県内の国際交流協会など）</p> <p>(6) 地域日本語教育ネットワーク会議 (ア) 日 時：令和2年11月25日 午後2時～午後4時半 (イ) 場 所：かごしま県民交流センター大研修室4 (ウ) 参加人数：34名（地域の日本語教室講師，県内の国際交流協会，日本語学校等関係者など）</p>
<p>令和3年度計画 （実績を含む）</p>		<p>(1) 在留外国人と県民との交流促進事業 地域住民と外国人が互いに交流を深め，外国人が日本社会に溶け込むことを目的に実施される，地域における特色ある活動，講座等を支援する。 募集期間：R3.4.5～5.6 応募件数：5件 採択件数：3件 上限額：100千円/1件</p> <p>(2) 日本語・日本文化等理解講座の実施 県内（人口に占める外国人の割合が高い地域）で日本語だけでなく日本での生活に必要な知識について，オンライン講座を行うとともに，在留外国人の居場所となるような取組を行う。 受講人数：7～8名（講師アンケート等により選定） 利用サービス：Zoom 実施日等：9/12, 9/26, 10/10, 10/24, 10/31 （全5回，90分/回）</p> <p>(3) 日本語サポーター（語学ボランティア）の養成（新規） 外国人が居住している県内市町村において，日本語教室のサポートを行う日本語サポーターが不足していることから，養成のための研修を行う。 サポーター養成講座について地域振興局単位で募集し，外国人も参加したより実践的な講座とするため，併せて日本語・日本文化等理解講座を開催する。 対象地域等：①始良・伊佐地域（霧島市）※（ ）内は会場を提供する市町 10/9, 10/30, 11/13, 12/11, 1/8, 1/29 （全6回180分/回） 募集人員 サポーター15名程度</p>

		<p>在留外国人 15 名程度</p> <p>②大隅地域（曾於市）※（ ）内は会場を提供する市町 11/28, 12/12, 12/26, 1/9, 1/23, 1/30 （全 6 回 180 分/回）</p> <p>募集人員 サポーター15 名程度 在留外国人 15 名程度</p> <p>(4) 庁内連絡会議</p> <p>(5) 多文化共生社会推進会議（外国人材受入活躍支援課，国際交流課が実施）</p> <p>(7) 日 時：令和 3 年 8 月 17 日 午前 10 時～午前 11 時 50 分</p> <p>(4) 開催方法：オンライン</p> <p>(7) 参加人数：16 団体（市町村，県内の国際交流協会など）</p> <p>(6) 地域日本語教育ネットワーク会議</p>
17	事業名 （事業主体）	米国ジョージア州との交流
	開始年度	令和 2 年度
	事業概要	<p>本県は 1966 年（昭和 41 年）に米国・ジョージア州と姉妹盟約を締結し，各種交流を行ってきた。近年は，鹿児島大学のジョージア大学などとの学術交流が行われている。</p> <p>令和元年 8 月 2 日に本県知事がジョージア州政府を訪問し，ダンカン副知事と会談した。併せて，姉妹盟約に関し，親善関係を強化していく旨の確認書をケンブ知事と取り交わしたところ。</p> <p>この確認書に基づき，今後，本県とジョージア州とのさらなる交流促進に向けた取り組みを行い，両県州の親善関係を強化していく。</p>
	令和 2 年度実績	なし（新型コロナウイルスの拡大により，実施見合わせ）
	令和 3 年度計画 （実績を含む）	<p>※ 新型コロナウイルスの拡大により，以下の事業は実施の可否検討中</p> <p>(1) 州知事受入</p> <p>(2) 姉妹盟約関係の醸成</p>